



IIxil シークレットドアストッパー 取付け説明書

●取付けされる方に必ずお渡しください。掲載番号順に施工してください。

■守っていただきたいこと

⚠ 警告 …取付けを誤った場合、使用者などが死亡または重傷を負う危険が想定されます。

⚠ 注意 …取付けを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。

⚠ 警告



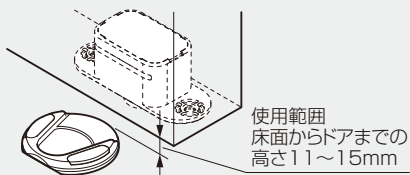
●下記機器をお使いの方は各機器メーカーに磁石の影響をご確認ください。医療機器誤作動のおそれがあります。

- (1) 体内埋込型機器
- (2) 生命維持用機器
- (3) 装着型心電計等

⚠ 注意



●強風や作動不良によりドアが強く閉まるなどでケガのおそれがあるため、作動範囲内に取付けてください。

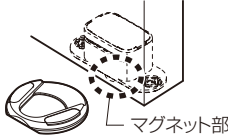


使用範囲
床面からドアまでの
高さ11~15mm

設置場所のお願い

●木質床材専用です。絨毯・クッションフロア等の柔らかい床材には取付けないでください。

※下記内容は重要事項ですので必ず点検してください。

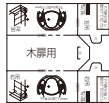
No.	チェック内容	
1	取付け後に粉じんやホコリを清掃し、ごみがない状態にしましたか？	☐
2	シークレットドアストッパーのマグネット部に粉じんや異物がない状態ですか？ 	☐
3	床付け部品のキャップを2個はめましたか？	☐
4	ドア本体の仮保持はできますか？	☐



このマンガはフィクションです。
実在の人物や団体などとは関係ありません。

■部品・部材明細

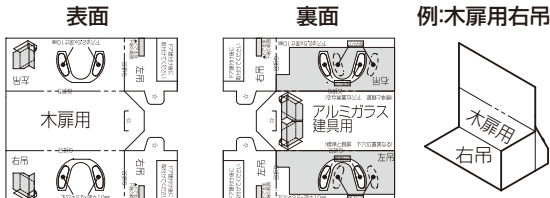
■シークレットドアストッパー用床付け部品部品セット

部品名	数量
床付け部品 	1
取付け治具 	1
ねじ隠しキャップ 	2
皿タッピンねじ φ3×14 	2

Ⅰシークレットドアストッパーの取付け手順

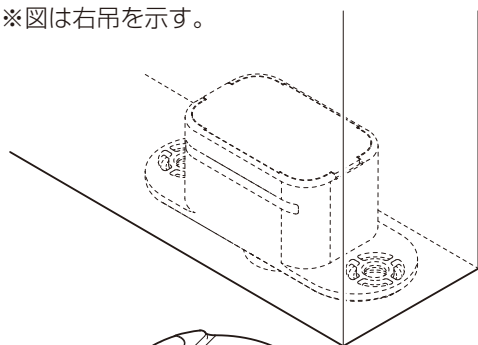
ドアストッパー取付け上のお願ひ

- 作動不良防止のため、下記事項をお守りください。
 - ・先にドア本体の建付け調整をしてください。
 - ・床暖房システムを使用している個所や、床材の継ぎ目をまたいで取付けないでください。
- ドア本体の材質・吊元で取付け治具使用面が異なります。使用前に確認してください。



- 位置出し～下穴あけまでは治具が動かないように固定してください。
- 空転、ねじ破損の防止のため、手動またはクラッチ付ドライバを使用してください。

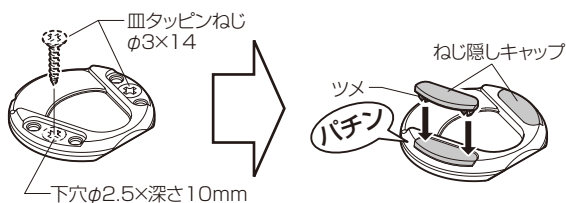
※図は右吊を示す。



シークレット
ドアストッパー
調整方法
動画



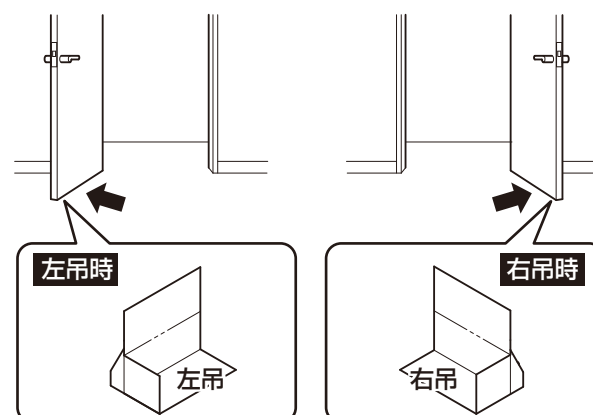
④⑤床付け部品の取付け



- ①ドア本体の吊元に合わせて取付け治具を折り、組立てます。
- ②ドア本体を止めたい位置まで開き、床付け部品の取付け位置の位置出しします。
- ※ハンドルなどが壁などに当たらない位置にしてください。
- ③位置出しした個所に下穴φ2.5×深さ10mmをあけます。
- ※位置出し個所がズレないようにしてください。
- ④床付け部品を同梱のねじで固定します。
- ⑤ねじ隠しキャップのツメを穴にはめ、パチンという感触があるまで押込みます。
- ⑥ドアを2～3回開閉し、ドア本体を開けた状態を保持するか確認してください。

①②③床付け部品の位置決め

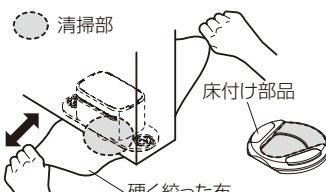
取付け治具の組立て



⑥作動確認



■正常に作動しない場合のトラブル対応表

現象	原因	対応
ゆっくり開いても扉が床付け部品に当たって跳ね返る。	ドア本体下端～床のすき間が10mm以下になっている。	ドア本体下端～床のすき間を11～15mmに調整してください。
ドアストッパーの作動が悪い。	マグネット部に異物が付着している。 床付け部品に異物が付着している。	マグネット部や床付け部品に付着したゴミやホコリ、異物を取り除いてください。
作動時に異音がしたり、開閉操作が重くなる。	マグネット部に砂ボコリなどの粉じんが付着している。 床付け部品に砂ボコリなどの粉じんが付着している。	マグネット部や床付け部品の砂ボコリなどの粉じんを掃除機で取り除き、硬く絞った布で拭き乾かす。 

※ドア本体の上下調整方法は丁番に同梱のドア本体取付け説明書を参照してください。